[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 O

事 業 名	交通安全施設	整備事業			事業期間	_	年度 ~ 一	年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	2-4-1	他に関連する 基本事業						所管課係	市民生活課生活交通係
	啓発看板等の交通 り、交通事故の関		することにより、:	交通事故に対すん	- る注意を喚起し、市	5民の交通安全	忠誠の同物で囚	手段 (どのような方法で 実現するのか)	交通事故が発生し	した現場や発生が	危惧される箇所に	- 啓発看板や交通安	そ全旗等を設置し、	維持管理は関係団体等で行う。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	道路利用者							成果 (どのような効果が 得られるのか)	交通事故に対する	る注意を喚起する	機会を拡大するこ	.とで、交通事故 <i>の</i>)抑止につなげる。	
事業開始時の状況緯	・これまでの経	自動車保有台数の 行政改革により ¹	D増加等に伴い交通 平成20年度から委託	狙事故が増加して E料を5%削減し	こいたことから、交 している。	通事故防止対策	策として啓発看板等	の施設整備を行っ	てきた。					

[DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
1×		実 績 額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
2		実 績 額				0				0					0	0
ħ	一般財源	計画額	282, 000	282, 000		846, 000	299, 000	200,000	299, 000	897, 000	299, 000	299, 000	299, 000	299, 000	1, 196, 000	2, 939, 000
		予算計上額	282, 000	284, 000	290, 000	856, 000	299, 000	356, 000		655, 000					0	1, 511, 000
た		実 績 額	156, 680	216, 818	134, 113	507, 611	138, 710			138, 710					0	646, 321
事	事業費合計	計画額	282, 000	282, 000	282, 000	846, 000	299, 000	299, 000	299, 000	897, 000	299, 000	299, 000	299, 000	299, 000	1, 196, 000	2, 939, 000
7		予算計上額	282, 000	284, 000	290, 000	856, 000	299, 000	356, 000	0	655, 000	0	0	0	0	0	1, 511, 000
業		実 績 額	156, 680	216, 818	134, 113	507, 611	,	0	0	138, 710	0	0	0	0	0	646, 321
費の推	事業費予算の 内容		282千円 (カーブミラー 更新等作成及び 設置、啓発看板	整備委託料 284千円 (カーブミラー 更新等作成及び 設置、啓発看板	整備委託料 290千円 (カーブミラー 更新等作成及び		整備委託料 299千円 (カーブミラー 更新等作成及び 設置、啓発看板	交通安全施設等 整備委託料 356千円 (カ新、スラーでは ですでででで で で で で が で が の が の が の が の で の で の								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)		新等作成及び設 置委託料を減額	置委託料を増額	新等作成及び設 置委託料を増額		新等作成及び設 置委託料を増額	カーブミラー更 新等作成及び設 置委託料を増額								
	実績との比較 (増減理由)		作成枚数が減っ				主に啓発看板の 作成枚数が減っ たため減額。									

Ħ	旨標の 打	隹移	- 評価														
污	5動指標	票 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:啓発看	板・交通安全旗設	置数	指標の求め方:診	设置数									
Þ	 大果指標	票 1	(「成果」をもとに設定)	指標名:交通事	故発生件数		指標の求め方:ダ	を通事故発生件数									
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	持		話動指標 1 計画値 (単位/箇所) 実績値	215 209		215 186		203 187	203	203		203	203	203	203		
	模	票	成果指標 1 計画値	28		l		漸減	漸減	漸減		漸減	漸減	漸減	漸減		
		_	(単位/件) 実績値	14	26	33		30									
		(事業の達成度 活動指標をもとに評価)				達成されている										
			事業の成果 成果指標をもとに評価)				少し上がっている										
			事業の効率性 事業費に対する成果)				変わらない										
		彩	総合評価				良好である										
	事務事業評価	西内	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	滅主 ・ は ・ に は ・ に は ・ に は ・ に は ・ に は も に は も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に に に は に に に は に に に に に に に に に に に に に	値た全の減主ら成交数数市みづした 高はの直し原る。 大、設した因。 高はの直し原る。 指連計とのか計画していい。 で発値た取値とも後の でいいが のを指導計とのが のでけいめず のを がでいる。 がでいいが のでがいが のでがいが のでがいが のでがいが のでがいが のでがいが のでがいが のでがいが のでがいが のでがいが のでがいが のでがいが のでがいが のでがいが のでがいが のでがいが のでがいが のでが のでが のが のが のが のが のが のが のが のが のが の	値た全の減主ら成交数回み計る側め看継続に、 成成見らなれ果通はつの画こ面 今等した の表述 の表述	とした。これら をト、タル で、良好である」 と考える。	値になななが通じにない。 にの旗見にない。 でではいるではいるではいるではいるではいるではいる。 ではいるでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		4	今後の方向性				現状のまま継続										
				R5:	#の ト れリ ナヘ	7. 小田 11 40 7. 一十	田 ナ しばっ / ナ	R8 :			u .	R10 :				1	
	改	善、	の判断理由 改革の内容 R8、R10)	通事故発生件数: 計画値以下、計 現状のまま継続 故が発生したこ	載が減いない。 載が表現の を対している を対している でいるとの でいるとが にいるとが にいるが	難しい側面もある たことがあること 。一方、R3年に市 係機関・関係団体	が、成果指標が から、本事業は 内で1件の死亡事 ・市民と連携										

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	交通安全団体	支援事業			事業期間	_	年度 ~ 一	年度						<u>- </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	2-4-1	他に関連する 基本事業						所管課係	市民生活課生活交通係
目的 (何のために実施するのか)	各団体の実施する	る交通安全事業が	円滑に実施される。	よう支援し、交通	- 通事故の防止につた	に げる。		手段 (どのような方法で 実現するのか)	各団体に運営費の	の一部を交付する	ō			
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市交通安全排	推委員会、砂川	市交通安全指導員	会、砂川市交通	安全協会の3団体			成果 (どのような効果が 得られるのか)	各団体の活動(啓	啓発活動等)が円	滑に行われること	により、市民の多	通安全意識の高熱	昜などが図られる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	交通安全事業がP 行政改革により、	円滑に実施される。 平成17年度から3	よう、各団体がそ δ通安全協会交付	れぞれに活動を展 十金を10%削減、ま	開している。 た、平成20年	度から交通安全推進	委員会及び交通安	そ全協会交付金を10	0%削減している。				

[DO]

実績

				第 1 次実施	[3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費					0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債					0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
投		実 績 額				0				0					0	0
-	その他	計画額				0				0					0	0
入		予算計上額				0				0					0	0
₹		実 績 額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	8, 144, 000	8, 144, 000		24, 432, 000	9, 004, 000	-,,	9, 004, 000	27, 012, 000	9, 004, 000	9, 004, 000	9, 004, 000	9, 004, 000	36, 016, 000	87, 460, 000
れ		予算計上額	8, 144, 000	8, 014, 000	8, 176, 000	24, 334, 000	9, 004, 000	9, 150, 000		18, 154, 000					0	42, 488, 000
<i>t</i> =		実 績 額	7, 199, 000	8, 014, 000	8, 176, 000	23, 389, 000	9, 004, 000			9, 004, 000					0	32, 393, 000
/_	事業費合計		8, 144, 000	8, 144, 000	8, 144, 000	24, 432, 000	9, 004, 000	9, 004, 000	9, 004, 000	27, 012, 000	9, 004, 000	9, 004, 000	9, 004, 000	9, 004, 000	36, 016, 000	87, 460, 000
事		予算計上額	8, 144, 000	8, 014, 000	8, 176, 000	24, 334, 000	9, 004, 000	9, 150, 000	0	18, 154, 000	0	0	0	0	0	42, 488, 000
-184-		実 績 額	7, 199, 000	8, 014, 000	8, 176, 000	23, 389, 000	9, 004, 000	0	0	9, 004, 000	0	0	0	0	0	32, 393, 000
業費の	事業費予算の 内容		員会6,739千円 交通指導員会 1,000千円 交通安全協会	1,000千円 交通安全協会	交通安全推進委 員会6,771千円 交通指導員会 1,000千円 交通安全協会 405千円		交通指導員会 1,000千円 交通安全協会	交通安全推進委 員会7,745千円 交通指導員会 1,000千円 交通安全協会 405千円								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)		いて、飲酒運転 撲滅事業費分を 増額。	員会について、 期末手当引き下 げに伴う減額	報酬額改定に伴 う増額		交通安全推進委 員会について、 報酬額改定に伴 う増額	員会について、								
	実績との比較 (増減理由)		新型ロナウイ防ル型の受力を ルルの変更を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	同額	同額		同額									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:交付率	指標の求め方:交付金額/事業予算
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:活動実績	指標の求め方:活動日数

						笙 1 次宝施	3 力年計画			第2次実施	3 九年計画			笙	3次実施4力年計	一面		6th - 440
				ŀ	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合計	合 計
		活動指標		計画値	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0	100.0		
	指	(単位/%	6)	実績値	88. 4	100.0	100. 0		100. 0									
	標	成果指標		計画値	330	330	330		330	330	330		330	330	330	330		
		(単位/日		実績値	300	323	341		337									
		事業の達 (活動指標	票をもとに	こ評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成 (成果指標		こ評価)				変わらない										
		事業の効果 (事業費に		成果)				変わらない										
		総合評価						良好である										
事務事業評価	評価内容	Į	総合評価 理由また値 の る自己分 ^ル	のはに関が	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対象団体の啓発	たことにより市 民の交通安全意		新型コロナウイ ルス感染拡大防 止の観点から、	たことにより市 民の交通安全意 識の高揚に寄与	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方	向性					現状のまま継続										
	今後の方向性 今後の方向性 方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)				とって本事業によ	面は「良好である <る交付金なしで 継続すべきと考え	こと、また、対は現状の活動が困る。	象の3団体に	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	交通安全啓発	事業			事業期間	_	年度 ~ —	年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	2-4-1	他に関連する 基本事業						所管課係	市民生活課生活交通係
目的 (何のために実施するのか)	交通ルールの遵守	守や交通マナーの	実践が主体的に行っ	われるよう、交	通安全意識の高揚を	三図る。		手段 (どのような方法で 実現するのか)						め、通学路、生活道路、市街地の を人クラブでの交通安全教室など
対象 (誰・何を対象としているのか)	市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)	各種啓発活動や経	封頭啓発を実施し	、年齢層に応じた	指導を行うことで	『交通事故の防止』	及び抑制につながる。
事業開始時の状況緯	!・これまでの経	市民や関係機関 こうした各界のB	・団体による交通3 取り組みにより、近	マ全を守るための 負内における交通	D取り組みは、様々 通事故死者数はピー	な形で連綿と約 ク時(昭和463	継続されてきた。 年889名)の約1/5程	≧度まで減少してい	る。					

[DO]

実績

			第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	画		第 7 期
		第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費 計	画額				0				0					0	0
	算計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
	画額				0				0					0	0
	算計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
	画額				0				0					0	0
12	算計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
	画額				0				0					0	0
	算計上額				0				0					0	0
美	績 額				0				0					0	0
	画額				0				0					0	0
	算計上額				0				0					0	0
×	績 額				0				0					0	0
7	画額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業	績 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費															
事業費予算の															
の内容内容															
推															
移前在床子等上															
前年度予算との比較															
(増減理由)															
実績との比較 (増減理由)															
(垣/火生田/															

指	標の推	移・評価															
活	動指標	1 (「手段」	をもとに設定)	指標名:交通安	全啓発活動参加者	数	指標の求め方:	参加者延べ人数									
成	果指標	1 (「成果」	をもとに設定)	指標名:交通事	故発生件数		指標の求め方:3	を通事故発生件数									
					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画				3次実施4力年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次	第6年次	実施3カ年 合 計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		古動指標		(3年度)	(4年度)	(5年度)		2, 195	(7年度)	(8年度)		(9年度)	(10年度)	(11年度) 2.195	(12年度) 2.195	н п	
	指	(単位/, (延))	実績値			2, 311		2, 204		-,							
	標	成果指標 (単位/(28	{			漸減	漸減	漸減		漸減	漸減	漸減	漸減		
		事業の達	成度		1 26	33	ほぼ達成されている	30									
		事業の成					少し上がっている										
			標をもとに評価)				少し上がりている										_
			こ対する成果)				変わらない										
		総合評価	i	自己分析:	自己分析:	自己分析:	良好である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事教	評価内容		理由または指標	活値た口影と成交数回た取に立る場所である。本学表現でありにはあるままでのでは、イギンを表現でありにはあるまでみずるのでは、一切がある。本学を表現である。本学を表現である。本学を表現である。本学を表現である。本学を表現である。本学を表現である。本学を表現である。本学を表現である。本学を表現である。本学を表現である。本学を表現である。本学を表現である。本学を表現である。本学を表現である。本学を表現である。本学を表現である。本学を表現である。	活値たロ影と成交数数市みづしの発導通制にの工態と成交数数市みづしの発導上満はとのでけいで活を事情流とが表指事計のの画と面の中ではいて活を事まれた。ないではいて活を事まれたがないで発値とないには、またりにはあも頭、山間のつののの。る件同、組近難る啓指交にには、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	活値たナ響た傾え成交数回み計る側動にがウに参向ら果通はつの面とも指標た新ルり者ある数故画がりにはあがかって変更な。 死性 のかしと あ生を市みづしの面とも あいまり しょう かいかつのり回と あ生を市みづしの回っ口影し復考 る件上のでけいの画っ口影し復考 る件上のでけいの	達もかとは費「とのル価る」と向断性業しらし、は、原状動力をというというというというというというというというというというというというというと	活年た春全計発はたた春全計発はたた春全計発は、少は通中た天な会動しが止と表でが、少は通中た天ならいが止と考えた。									
		今後の方	向性				現状のまま継続										
	改善	性の判断5 、改革のF 、R8、R10	内容	通事故発生件数 計画値以下、計 現状のまま継続 故が発生したこ	載のとする。 もい。 もい。 もい。 もい。 もい。 もい。 もい。 もい。 もい。 もい	難しい側面もある たことがあること 。一方、R3年に市 係機関・関係団体	が、成果指標が :から、本事業は i内で1件の死亡事 :・市民と連携	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	運転免許証自	主返納サポー	-ト事業		事業期間	平成	29年度 ~ -	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画の位置付け	2-4-1	他に関連する 基本事業						所管課係	市民生活課生活交通係
目的 (何のために実施する のか)	運転に不安のある	る市民の運転免許	証の自主返納を促	進し、交通事故の	- D減少を図る。			手段 (どのような方法で 実現するのか)	すべての種類の選 クシー補助券を多	重転免許証を自主: を付する。	返納した市民に対	し、市内の事業者	音等が発行する商!	品券等の支援品及び予約型乗合タ
対象 (誰・何を対象として いるのか)	運転免許を保有り	している市民と、	その家族。					成果 (どのような効果が 得られるのか)	運転免許証を自主	と的に返納しやす!	い環境づくりを推	進することにより	リ、交通事故の減少	少が図られる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	ている。 砂川市においても	も、交通事故の第-	- 当事者のうち6		合は年々高く								高齢運転者対策は喫緊の課題となっ て、自主返納した市民に支援品を進

[DO]

実績

		第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
	第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道 費 計 画 額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実 績 額				0				0					0	0
れ 一般財源 計画額	1, 456, 000	1, 564, 000	1, 456, 000	4, 476, 000	1, 276, 000	1, 384, 000	1, 276, 000	3, 936, 000	1, 276, 000	1, 384, 000	1, 276, 000	1, 276, 000	5, 212, 000	13, 624, 000
予算計上額	1, 456, 000	1, 599, 000	1, 456, 000	4, 511, 000	1, 276, 000	1, 170, 000		2, 446, 000					0	6, 957, 000
ま 績 額	984, 600	1, 041, 200	954, 900	2, 980, 700	988, 100			988, 100					0	3, 968, 800
事業費合計 計 画 額	1, 456, 000	1, 564, 000	1, 456, 000	4, 476, 000		1, 384, 000	1, 276, 000	3, 936, 000	1, 276, 000	1, 384, 000	1, 276, 000	1, 276, 000	5, 212, 000	13, 624, 000
予算計上額	1, 456, 000	1, 599, 000	1, 456, 000	4, 511, 000		1, 170, 000	0	2, 446, 000	0	0	0	0	0	6, 957, 000
業 実績額	984, 600	1, 041, 200	954, 900	2, 980, 700	988, 100	0	0	988, 100	0	0	0	0	0	3, 968, 800
費	支援品 1,120千	支援品 1,120千	支援品 1,120千			支援品 900千円								
事業費予算の	予約型乗合タク	円 消耗品(夜光反	円 予約型垂合々ク		円 予約型乗合タク	予約型乗合タクシー利用補助会								
の内容	シー利用補助金	射材) 143千円	シー利用補助金		シー利用補助金									
144	336千円	予約型乗合タク	336千円		336千円									
推	返納者数が増加	シー利用補助金	消耗品費(夜光		支援品を減額	支援品、予約型								
移	区納有数が増加すると見込んだ		月末品質(後元 反射材)を削除			又接品、ア利空 乗合タクシー利								
前年度予算との比較	ため	231117 C-BIR	ANT IN CITIES			用補助金を減額								
(増減理由)														
	当初予定してい	当初予定してい	当初予定してい		当初予定してい									
実績との比較	た返納者数を下	た返納者数を下	た返納者数を下		た返納者数を下									
	回ったため	回ったため	回ったため		回ったため									

指棋	の推	移・評価															
活重	劫指標	1 (「手段	(」をもとに設定)	指標名:支援品3	交付者数		指標の求め方:	支援品交付者数									
成界	!指標	1 (「成果	:」をもとに設定)	指標名:交通事故	故発生件数		指標の求め方:3	交通事故発生件数									
					第1次実施	103カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施 4 カ年	総合計画合計
		活動指	標 1 計画値	(3年度) 50	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度) 50	(8年度)	合 計	(9年度) 50	(10年度) 50	(11年度) 50	(12年度)	合 計	ы п
	指	(単位)		90				81		30					30		
	標	成果指		28		·		漸減	漸減	漸減		漸減	漸減	漸減	漸減		
	\vdash	事業の	八根框	14	26	33		30									
			^{建成及} 指標をもとに評価)				達成されている										
		事業のは	成果 á標をもとに評価)				あまり上がってい ない										
		事業の	効率性				変わらない										
		総合評	に対する成果) 価				普通である										
		THO CO BT	ш-	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				活動指標が計画値を上回った主	活動指標が計画値を上回った主	活動指標が計画値を上回った主	達成度、成果ともに指標の動向	活動指標が計画値を上回った主									
				な要因は、砂川	な要因は、砂川	な要因は、砂川	もに指標の動削 から上記の判断 とした。教事性 は、事業費、事	にでエロッた工 な要因は、砂川 整窓庁舎が運転									
				合計証返納者に	音祭庁告が連転 免許証返納者に	音祭庁告が連転 免許証返納者に	は、事業費、事	言祭庁吉が連転 免許証返納者に									
				対して本事業を	対して本事業を	対して本事業を	業内容に大きな 変動がないため	対して本事業を									
事				考える。	考える。	考える。	「変わらない」とした。これら	考える。									
	評価			ては、市のみの	ては、市のみの	ては、市のみの	をトータルし	ては、市のみの									
務	内			取り組みで計画	取り組みで計画	取り組みで計画	て、総合評価は「普通である」										
	容		総合評価の判断	とは難しい側面	とは難しい側面	とは難しい側面	と考える。	とは難しい側面									
事			理由または指標の実績値に関す	も他の事務事業	もあるが、今後 も他の事務事業	も他の事務事業		もあるが、今後 も他の事務事業									
			る自己分析	【と連携し、交通	と連携し、交通 事故の抑止につ	と連携し、交通		と連携し、交通 事故の抑止につ									
業				なげる。	なげる。	なげる。		なげる。									
評																	
価																	
11111																	
		今後の	方向性				現状のまま継続										
				R5: 白己分析欄に記	・ 載のとおり、市の	みの取り組みでは	サンド カンドラ かんしゅう	R8 :				R10 :				•	
				通事故発生件数	を減らす)ことは	難しい側面もある	が、成果指標が										
					画値と同じとなっ することとしたい		:から、本事業は ī内で1件の死亡事										
				故が発生したこ。	とから、今後も関 滅も含めた総合的	係機関・関係団体	・市民と連携										
	方向改善	性の判断 、改革の	可理由)内容	ると考える。	ᄦᇇᆸᄧᇨᆄᆸᄞ	ゆみ四メエ州 宋で	.) (20 (20) (20) (20) (20)										
		. R8. R1															

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	生活安全推進	事業			事業期間	平成	12年度 ~ -	- 年度						-
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	2-4-2	他に関連する 基本事業						所管課係	市民生活課生活交通係
目的 (何のために実施するのか)	市と市民が協力し	ンて犯罪、事故等	を防止し、安全で	住みよい地域社:	会の実現を図る。			手段 (どのような方法で 実現するのか)	主的な安全活動で	を促進するため生 改等の状況の把握	舌安全モデル地域	を指定し、生活安	全計画の円滑な	等に加え、自治会を中心とした自 実施のための援助、指導等を行 環境整備の推進等総合的な生活安
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内に住所を有る	する者及び市内に	滞在する者並びに	市内に所在する	土地、建物、商店、	営業所等の所	有者及び管理者	成果 (どのような効果が 得られるのか)	市民の安全意識の 安全対策を実施す	の啓発、自治会を することにより、!	中心とした自主的 安全で住みよい地]な活動の促進、安 !域社会の実現が図	そ全確保に必要な I Iられる。	環境整備の推進等、総合的な生活
事業開始時の状況 緯	!・これまでの経	平成15年から生活	舌安全モデル地域で	を指定しており、	平成30年度に指定	をした自治会で	で8箇所目である。							

[DO]

実績

						第 1 次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費		計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
			_	実績額				0				0					0	0
	道	費	_	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
			_	実績額				0				0					0	0
	地	方 債		計画額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
7	_	- 61	_	実績額				0				0					0	0
	そ	の他		計画額				0				0					0	0
さ				予算計上額				0				0					0	0
	Ь.		_	実績額				0				0					0	0
れ	- ;	般 財源		計画額	43, 000	43, 000		129, 000	43, 000	,	43, 000	120,111	43, 000	43, 000	43, 000	43, 000	172, 000	430, 000
<i>t</i> =				予算計上額	43, 000	43, 000	43, 000	129, 000	43, 000	43, 000		86, 000					0	215, 000
,		6 ab A 51		実績額	0	0	0	0	40,000	40,000	40.000	0	40,000	40.000	40,000	40,000	0	0
事	争亲	養合計		計画額	43, 000	43, 000	43, 000	129, 000	43, 000	43, 000	43, 000	129, 000	43, 000	43, 000	43, 000	43, 000	172, 000	430, 000
業				予算計上額	43, 000	43, 000	43, 000	129, 000	43, 000	43, 000	0	86, 000	0	0	0	0	0	215, 000
*				実績額	U 上 江 中 人 世 世 系	() () () () () () () () () () () () () (() 上江中人拼准系	0	上还中 <u>O</u> # # 季	() ()	0	0	0	0	0	0	0	0
費	車業	費予算の			員報酬(委員長	生活安全推進委 員報酬(委員長 5,500円×1人、	生活女主推進安 員報酬(委員長 5,500円×1人、		生活安全推進委 員報酬(委員長 5,500円×1人、	員報酬(委員長								
の		内容	1		委員4,800円×7	委員4,800円×7	委員4,800円×7		委員4,800円×7	委員4,800円×7								
推					人)、費用弁償 300円×8人		人)、費用弁償 300円×8人		人)、費用弁償 300円×8人	人)、費用弁償 300円×8人								
3122							前年度同額			前年度同額								
移	0	度予算と の比較 減理由)	=															
	実績(増	をの比較 減理由)	Ż.		新型コウイルス感染 拡大防止の観点から、生活安全推進 委員会を書面会議 としたことによる	昌会を盟催して	生活安全推進委 員会を開催して いないため減		生活安全推進委 員会を開催して いないため減									

	移・評価 1 (「手段」をもとに設定)	指煙名·生活完	全モデル地域等団	休 数	指標の求め方: 均	地域指定团体等 延	べ数								
	1 (「成果」をもとに設定)	指標名:犯罪発		rr sx	指標の求め方:		****								
			第 1 次 軍 が	3 力年計画			筆 ク 次 実 施	3 力年計画			~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	3次実施4力年計	+画		atr - +
		第1年次(3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次(10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	第 7 期 総合計 高
指	活動指標 1 計画 (単位/団体) 実績					11 11		11		11	11	11	11		
標	成果指標 1 計画 (単位/件) 実績	値 漸凋	{			漸減 45	漸減	漸減		漸減	漸減	漸減	漸減		
	事業の達成度 (活動指標をもとに評	西)			達成されている										
	事業の成果 (成果指標をもとに評価	西)			少し上がっている										
	事業の効率性 (事業費に対する成果)				あまり上がってい ない										
	総合評価				普通である										
事务事業平面	総合評価の判	犯は年とは、 ・ はない。 ・ はない。 ・ はない。 ・ はない。 ・ はない。 ・ はない。 ・ はない。 ・ はない。 ・ はない。 ・ はい。 ・ は、 ・	た。後ででは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きないでは、まないではないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないではないでは、まないではいいでは、まないでは、まないでは、まないではいいでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは	犯は年したの増生性により、 発程よりの増生性がある。 を生れる。 を生れる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	計で指発し効な的総としません。	犯罪発生件数 特別 知事発生が期 表が、したの 中ので で で で で で の を と と と を き 後 る き る き る き る き る の の の の の の の の の の の	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
改善	今後の方向性 同性の判断理由 手、改革の内容 、 R8、R10)	をはじめとする や市民と連携・ 自治会を中心と	減らしていくため 関係し関や防犯協 協力していな活動 した自主的な本事業 、引き続き本事業	会などの関係団体 があり、市民の安 の促進等、安全で	、さらに自治会 全意識の啓発、 住みよい地域社	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	防犯協会支援	事業			事業期間	_	年度 ~ —	年度		•				
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	2-4-2	他に関連する 基本事業						所管課係	市民生活課生活交通係
目的 (何のために実施するのか)	市民の防犯意識の	D高揚を図り、安:	全・安心な社会を	築く。	•			手段 (どのような方法で 実現するのか)	砂川市防犯協会に	に運営費の一部を複	浦助する。			
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市防犯協会							成果 (どのような効果が 得られるのか)	砂川市防犯協会が	が実施する街頭啓	発(啓発物の配布	ī等)などの事業か	「円滑に行われ、犭	犯罪の防止及び抑制につながる。
事業開始時の状況緯					で市民生活が送れる。 いぞれ補助金を10%			等を実施している	10					

[DO]

実績

						第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	- 画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国		費	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
	道		費	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
	地	方	債	計画額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
入	そ	の	他	計 画 額				0				0					0	0
à				予算計上額				0				0					0	0
_				実績額				0				0					0	0
れ	— A	般 財	源	計 画 額	33, 000	33, 000	33, 000	99, 000	33, 000	33, 000	33, 000	99, 000	33, 000	33, 000	33, 000	33, 000	132, 000	330, 000
				予算計上額	33, 000	33, 000	33, 000	99, 000	33, 000	33, 000		66, 000					0	165, 000
た				実績額	33, 000	33, 000	33, 000	99, 000	33, 000			33, 000					0	132, 000
車	事業	美費 合	計	計画額	33, 000	33, 000	33, 000	99, 000	33, 000	33, 000	33, 000	99, 000	33, 000	33, 000	33, 000	33, 000	132, 000	330, 000
7				予算計上額	33, 000	33, 000	33, 000	99, 000	33, 000	33, 000	0	66, 000	0	0	0	0	0	165, 000
業				実 績 額	33, 000	33, 000	33, 000	99, 000	33, 000	0	0	33, 000	0	0	0	0	0	132, 000
費の推	事業	費予算 内容	ſΟ		運営費の一部補 助	運営費の一部補 助	運営費の一部補 助		運営費の一部補 助	運営費の一部補 助								
移	0	度予算 の比較 減理由			前年度同額	前年度同額	前年度同額			前年度同額								
	実績(増	をの比 記載理由	:較 l)		同額	同額	同額		同額									

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:市からの	D補助率		指標の求め方:神	輔助金額/事業予	算								
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:犯罪発生	上件数		指標の求め方:狐	卫罪発生件数									
		第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4力年計	一		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	-41	活動指標 1 (単位/%)	計画値	4. 8		4. 8		5. 0	5. 0	5. 0		5. 0	5. 0	5. 0	5. 0		
	指標		実績値 計画値	4.9		5.1 漸減		5.3	漸減	漸減		漸減	漸減	漸減	漸減		
		(単位/件)	実績値	54		46		45									
		事業の達成度 (活動指標をもと	:に評価)				達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもと	:に評価)				少し上がっている										
		事業の効率性 (事業費に対する	5成果)				上がっている										
		総合評価					良好である										
事務事業評価	評価内容	総合評価 理由まま の実績値 る自己分	価の判断標 たはに関 は 値 分析	はぼる成犯は年し度や今携特活しはぼる成犯は年し度や今携特活し 標生暴りめ数し警え欺を民情と乗りの数し警え欺を民たの増後の詐欺を民いたが、の実のにいて、大きないが増削り。と特をを決めたが、は、る、前加年や 連に発いて、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	はぼる成犯は数た今携特活し意り数の画し、標生年減 警え欺を民向罪少画し、標生年減 警え欺を民向罪少事、の実の上発的り、もう許等市師の犯減がある。 と特容施防を生発のでは、 とりを強いを生める。 とりを かいっとり とりを かいっとり とり はいっとり かいっとり かいっという はいいっという はいいい はいいい はいいいう はいいい はいいい はいいい はいいい	はぼる成犯は年し度や今携特活し、清高、提罪発度との増発の計算を表現を使い、ある前加年や、また家、と特別を表現を民たの増後の許勝の、たるを対し、と特をを決め、と特別を表して、の数が増削り。と特別を表して、の数には、の数が増削り。と特別を表現を表現して、の数には、の数には、の数には、の数には、の数には、の数には、の数には、の数には		は滅がり助計し成犯窃だがり助計し成犯窃だの表情を関する情報を関する標準が関いて果罪発犯、大の近外相がはる標生が想象では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		 今後の方向性					現状のまま継続										
	改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)		活動や街頭啓発が り、継続すべき 今後も、警察をは	まじめとする関係 より効果的な啓発	、犯罪を抑止する 機関・団体、自治	くために、周知 ことが必要であ 会や市民と連	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 O

事 業 名	防犯灯設置・	·維持費助成專	事業		事業期間	_	年度 ~ —	年度		!				<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	2-4-2	他に関連する 基本事業						所管課係	市民生活課生活交通係
目的(何のために実施するのか)	夜間における視	認性を確保し、治	安の維持及び交通	安全につなげる	-			手段 (どのような方法で 実現するのか)	防犯灯設置費補助 費(80%以内)を	か申請書、防犯灯紀 を補助する。	維持費補助申請書	書により補助申請 ∂)あった団体に対	し、設置費(50%以内)及び維持
対象 (誰・何を対象として いるのか)	防犯灯を設置及	び維持する団体						成果 (どのような効果が 得られるのか)	犯罪や交通事故の	D発生が危惧されん	る夜間の道路にお	おいて、防犯灯が討	设置・維持され、ī	市民の安全が図られる。
事業開始時の状況 緯	!・これまでの経	行政改革では、	平成17年度より維持	寺費補助を100%	5環境を整備するた 以内から80%以内に D導入を推進するた	変更、さらに	平成20年度から設施	置費補助について.	上限額を設定した。	•				

[DO]

実績

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費					0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地	方 債	I				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
入			実績額				0				0					0	0
	そ	の他					0				0					0	0
さ			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
れ	一 般	段 財 源		3, 989, 000		3, 989, 000	11, 967, 000	4, 447, 000	.,,	4, 447, 000	13, 341, 000	4, 447, 000	4, 447, 000	4, 447, 000	4, 447, 000	17, 788, 000	43, 096, 000
<i>t</i> =			予算計上額	3, 989, 000	3, 807, 000	4, 167, 000	11, 963, 000	4, 447, 000	4, 385, 000		8, 832, 000					0	20, 795, 000
			実績額	3, 593, 900		4, 291, 440	12, 398, 560	4, 627, 950			4, 627, 950					0	17, 026, 510
事	事業	費合計		3, 989, 000		3, 989, 000	11, 967, 000	4, 447, 000	4, 447, 000	4, 447, 000	13, 341, 000	4, 447, 000	4, 447, 000	4, 447, 000	4, 447, 000	17, 788, 000	43, 096, 000
業			予算計上額	3, 989, 000		4, 167, 000	11, 963, 000		4, 385, 000	0	8, 832, 000	0	0	0	0	0	20, 795, 000
*			実 績 額	3, 593, 900		4, 291, 440	12, 398, 560	4, 627, 950	0	0	4, 627, 950	0	0	0	0	0	17, 026, 510
費の		費予算の 内容		203千円 維持費補助	設置費補助 251千円 維持費補助 3,556千円	設置費補助 114千円 維持費補助 4,053千円		設置費補助 308千円 維持費補助 4,139千円	設置費補助 109千円 維持費補助 4,276千円								
移	の	度予算と)比較 咸理由)		の増	維持費は北電に よる電気料金値	設置費は灯具取 替数の減、維持 費は北電による 電気料金値上げ による増。		替えによる増、 維持費は北電に	電気料金値上げ								
		との比較 咸理由)		置数が予算時点 より減ったこと	主に、電気料金 の値上げによる 増。 3月補正 746千円	主に、電気料金 の値上げによる 増。 3月補正 126千円		主に、電気料金 の値上げによる 増。 3月補正 182千円									

指標の推	推移	- 評価														
活動指標	票 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:維持費	補助申請団体数		指標の求め方:[団体数									
成果指標	票 1	(「成果」をもとに設定)	指標名:維持費	補助対象防犯灯数		指標の求め方: 🏻	坊犯灯数									
				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	į	活動指標 1 計画値	图 87	87			87	87	87		87	87	87	87		
指		(単位/団体) 実績(87			87									
標	Ħ,	成果指標 1 計画信 (単位/灯) 実績信		1, 624 1, 641	1, 624 1, 627		1, 624 1, 633	1, 624	1, 624		1, 624	1, 624	1, 624	1, 624		
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価		1, 041	1, 027	達成されている	1,000									
	1	事業の成果 (成果指標をもとに評価				上がっている										
	7	事業の効率性				変わらない										
	;	総合評価				良好である										
事務事業評価	5	理由または指標	指標が計画値を 上三にH25年の度の LED防犯灯整備 事業団体が防理する を維持にある ととあること の本事業により を維持にある にあること の本事業にある。より	値は要ににがで本内るに理交ににがで本内るに理交ににがで本内るに理交にとりかいます。 いいかい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいが	値は要ににがで本内るに理交通によりあるにのであたと数め、町す正管やし、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	い」と判断した。これらを総合的に評価して、良好であると判断した。	値は要ににがで本内の必ずたと数め 町する時間 は、よりで本のよりである。 は、おりが、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性				現状のまま継続										
改	善、	Eの判断理由 改革の内容 R8、R10)	ている。維持費者 値下げによる変動 負担する電気料金	こ設置する防犯灯 哺助金については 動が大きいが、LE 金は軽減されてい 継続し犯罪や交通	、北電による電気 D防犯灯にしたこ る。	〔料金の値上げ、 とにより町内会が	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	市民相談事業	!			事業期間	_	年度 ~ —	年度				•		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	2-4-3	他に関連する 基本事業						所管課係	市民生活課生活交通係
目的 (何のために実施するのか)	市民の相談に対し	、て解決の手助け っ	をする。					手段 (どのような方法で 実現するのか)	電話、面接等によ	よる市民の相談に	対し、助言及び相	談機関の紹介を行	īð.	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)	助言及び相談機関	関の紹介を行うこ	とにより、問題解	決に向けた相談窓	ぱ口となっている。	
事業開始時の状況緯	・これまでの経	市民相談は市の割	基本的な行政サービ	スとして継続る	されてきた。									

[DO]

実績 (単位:円)

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	曲		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費	計画額	, , , , , ,	, , , , , ,	, , , , , ,	0				0	, , , , , , ,	, ,,,,,,,	, ,,,,,,,,		0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
1X		実績額				0				0					0	0
入	その他					0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
5		実績額				0				0					0	0
れ	一般財源	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
た		実績額				0				0					0	0
事	事業費合計	計画額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7		予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業		実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
200-																
費																
の	事業費予算の 内容															
	175															
推																
移																
19	■前年度予算と															
	の比較 (増減理由)															
	(垣/吹连田)															
	実績との比較 (増減理由)															
	(垣/吹垤田)															

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:相談受理件数	指標の求め方:相談受理件数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:相談受理件数	指標の求め方:相談受理件数

			第1次実施3カ年計画 第1年次 第2年次 第3年次 率施3カ年					第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4力年記			第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	Ť	活動指標 1 計画 (単位/件) 実績(l		30 27	30	30		30	30	30	30		
	指標	成果指標 1 計画					30	30	30		30	30	30	30		
		(単位/件) 実績(直 26	6 46	33		27									
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)			ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)			少し上がっている										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				少し上がっている										
		総合評価				良好である										
事務事業評価	評価内容	総合評価の判理 理由またはに関 る自己分析	でしています。 でしています。 でしているでは、少りでは、少りでは、少りでは、少りでは、少りでは、少りでは、からでは、できないでは、からでは、からでは、からでは、からでは、からでは、からでは、からでは、から	両指標が計画値 を上事では を を を を を を を を と る と と 、 の の の の の の の の の の り る り る り る る ら る ら る る る る る る る る る る	てし野に相り相に相り相に関いた。 でしている。 でしている。 では、 としている。 では、 としている。 では、 としている。 とれている。 とれている。 とれている。 とれている。 とれている。 とれている。 とれている。 とれている。 とれている。 とれている。 とれている。 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、 はい、	指標ともに計画に計画に計画に計画に計画の多様をある。というでは、一般である。というでは、一般である。というでは、一般である。	て両指標は減少 していい見ると主 に消費者関係の 相談となってお	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	神野理由:	
		 今後の方向性				現状のまま継続										
			問題の解決に向	Mまする基本的な行けた一助となってのまま継続すべき	いる。総合評価が	、市民が抱える	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	弁護士相談事	業			事業期間	_	年度 ~ —	年度					•	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	2-4-3	他に関連する 基本事業						所管課係	市民生活課生活交通係
目的 (何のために実施するのか)	法律的な問題を抱	図える市民に対し	弁護士に相談する	幾会を提供し、	問題解決を図る。			手段 (どのような方法で 実現するのか)	札幌弁護士会に依 相談時間は1件に	太頼し(覚書を締 こつき約30分。午	結)、年間12回(後1時から午後4	毎月1回)の無料 時までで、事前予	斗相談を実施。相読 ⋝約制で実施する。	炎場所は市役所市民相談室とし、
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)	弁護士に相談し直	直接助言を受ける	ことにより、問題	解決が図られる。		
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	日常の相談業務に	こついては職員が対	対応しているが、	法律的な問題を抱	える市民には	を勧めるか関係機	関を紹介している	· .					

[DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国	費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
道	費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
地	方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入そ	の他	計画額				0				0					0	0
t		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
れ -	般 財 源	計画額	480, 000	480, 000		1, 440, 000	480, 000	100,000	480, 000	, ,	480, 000	480, 000	480, 000	480, 000	1, 920, 000	4, 800, 000
t ₌	_	予算計上額	480, 000	480, 000	480, 000	1, 440, 000	480, 000	480, 000		960, 000					0	2, 400, 000
		実績額	280, 000	480, 000	480, 000	1, 240, 000	480, 000			480, 000					0	1, 720, 000
事事	業費合計	計画額	480, 000	480, 000	480, 000	1, 440, 000	480, 000	480, 000	480, 000	1, 440, 000	480, 000	480, 000	480, 000	480, 000	1, 920, 000	4, 800, 000
alla	_	予算計上額	480, 000	480, 000	480, 000	1, 440, 000	480, 000	480, 000	0	960, 000	0	0	0	0	0	2, 400, 000
業		実績額	280, 000	480, 000	480, 000	1, 240, 000		0	0	480, 000	0	0	0	0	0	1, 720, 000
費			札幌弁護士会へ の謝礼	札幌弁護士会へ の謝礼	札幌弁護士会へ の謝礼		札幌弁護士会へ の謝礼	札幌弁護士会へ の謝礼								
事	業費予算の				1回40,000円			1回40,000円								
0	内容		×12回	×12回	×12回		×12回	×12回								
推																
)E			前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額								
移前	年度予算と		10 T/X I-1 IIX	151 - 152 I-1 IDR	n-1-X1-1 mx		7 / X (-) DX	67 - 1×1 1×1 1×1								
	の比較															
t)	曽減理由)															
			新型コロナウイルス 感染拡大防止の観点	同額	同額		同額									
実績	績との比較		から、本事業を中止													
	曽減理由)		したことによる減。 3月補正													
			△200千円													
							<u>II</u>									

ŧ	旨標の 指	Ě移・	・評価															
;	舌動指標	票1 ((「手段」をもと	に設定)	指標名:実施回数	数		指標の求め方:実	『施回数									
J.	戊果指 核	票1 ((「成果」をもと	に設定)	指標名:利用率			指標の求め方:実	《相談数/最大相談	炎件数(72件)								
						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	指		話動指標 1 (単位/回)	計画値実績値	12 7	12 12			12 12	12	12		12	12	12	12		
	標	成	大果指標 1	計画値	56. 9	56. 9			56. 9	56. 9	56.9		56. 9	56. 9	56. 9	56. 9		
		_	(単位/%)	実績値	50.0	79. 2	69. 4		59. 7									
		()	事業の達成度 活動指標をも	とに評価)				達成されている										
		()	事業の成果 成果指標をも	とに評価)				少し上がっている										
			事業の効率性 事業費に対す	る成果)				変わらない										
		総	於合評価					良好である										
	事務事業評価	<u> </u>	理由書	平価の判断標 を も し は関す	ルス感染拡大的 よの観点中は いの観を は悪い は標と は標と は に 活 指 と に に に に に に に に に れ に れ に れ に れ に れ に	あるいます。 を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して をまるで を を を を を を を を を を を を を	ある程度定着している。 おいるおける。 お標が計画にとれる。 引き続き 市民周知を行	回っていること から「少し上	ある程度定着にまたいるが計画によるがいるがいったがいったがはいたといる。引き続き	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今	後の方向性					現状のまま継続										
					R5 :	# 1 + 35 -c / 2 / 3			R8 :				R10 :				1	
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		とっては貴重な村	養土事務所がない 钼談の機会となっ である」ことから	ている事業である	こと、また、総												

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	消費生活相談	事業			事業期間	平成	24年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	2-4-3	他に関連する 基本事業						所管課係	市民生活課生活交通係
目的(何のために実施するのか)	複雑かつ悪質化しる。	,ている消費生活	問題を抱える市民	に対し、専門的知	- 知識を持つ消費生活	5相談員に相談	する機会を提供す		滝川地方消費者やから午後4時まで		消費生活相談に応	じる。相談場所は	は滝川市役所とし、	. 相談時間は月〜金曜日、午前9時
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)	消費生活問題を持 とができる。	包える市民が消費	生活相談員に直接	助言を受けること	とにより、消費生活	舌問題の解決と未然防止を図るこ
事業開始時の状況 緯	・これまじの栓	生活相談員の育用	成に努めた。その紀	吉果、砂川消費者	の市民相談員を廃」 が協会の消費生活相 する滝川地方消費者	談員が常時相談	炎に対応できる体制	削が整ったため、平	成24年度より同様	協会に消費生活相	淡業務を委託した	。消費生活相談內	容の高度化や相談	等を補助し専門的知識を持つ消費 炎員の高齢化による人材不足などか

[DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3 次実施4カ年計	·画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道 費					0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
入		実 績 額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
さ		予算計上額				0				0					0	0
h		実 績 額				0				0					0	0
16	一般財源		1, 451, 000		1, 356, 000	4, 163, 000	1, 571, 000	., ,	1, 063, 000	4, 205, 000	1, 063, 000	1, 063, 000	1, 063, 000	1, 063, 000	4, 252, 000	12, 620, 000
た		予算計上額	1, 451, 000	1, 355, 000	1, 511, 000	4, 317, 000	1, 571, 000	1, 167, 000		2, 738, 000					0	7, 055, 000
-		実 績 額	1, 372, 000	1, 354, 290	1, 510, 130	4, 236, 420	1, 570, 939			1, 570, 939					0	5, 807, 359
事	事業費合計		1, 451, 000	1, 356, 000	1, 356, 000	4, 163, 000	1, 571, 000	1, 571, 000	1, 063, 000	4, 205, 000	1, 063, 000	1, 063, 000	1, 063, 000	1, 063, 000	4, 252, 000	12, 620, 000
業		予算計上額	1, 451, 000	1, 355, 000	1, 511, 000	4, 317, 000		1, 167, 000	0	2, 738, 000	0	0	0	0	0	7, 055, 000
		実 績 額	1, 372, 000	1, 354, 290	1, 510, 130	4, 236, 420	1, 570, 939	0	0	1, 570, 939	0	0	0	0	0	5, 807, 359
費の	事業費予算の 内容		務委託料		消費生活相談業 務委託料 1,511千円		務委託料 1,571千円	滝川地方消費者センター負担金 1,063千円、消費 者協会補助金104 千円								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)		ため、講習受講 料分の増。		費の増。		の増。	消費生活相談を 委託から広域連 携に変更したこ とによる減。								
	実績との比較 (増減理由)		受講予定の講習 がオンラインライ 催とよる、 による。 3月補正 △79千円	同額	同額		同額									

指棋	の推和	移・評価															
活重	指標 つ	1 (「手段	」をもとに設定)	指標名:相談受	理件数		指標の求め方:氵	肖費生活相談を受	理した件数								
成果	指標 *	1 (「成果	」をもとに設定)	指標名:啓発活	動回数		指標の求め方:	肖費者トラブル啓	発周知活動回数								
					第1次実施	103カ年計画			第2次実施	13カ年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
	1		= . != ! = ! = ! = !	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	
	指	活動指導		26 20		.4	3	25	26	26	0	26	26	26	20)	
	標	成果指		8	8	8	3	5	5		5	5	5	5 5	5	5	
		(単位)	/回) 実績値	1	1	2	2	3									
		事業の法	達成度 『標をもとに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の					4.1.1.48 1.7										
			(標をもとに評価)				少し上がっている										
		事業の3	効率性 さに対する成果)				変わらない										
		総合評					良好である										
				自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
							事業の達成度及 び成果ともに高										
				止の観点から各	止の観点から各	が、新型コロナ	い評価であるこ	が、消費生活相									
				止となり、啓発	止となり、啓発	大防止の観点か	とから、総合的 に「良好であ	談を砂川消賀石 協会への委託か									
				活動及び協会の	活動及び協会の	ら中止となって	る」と評価し	ら広域連携に変									
事				PRができな かったが、今後	かったが、今後	いた各種イベン トが回復傾向に	<i>T</i> = 0	更したことによ り、砂川消費者									
7	評			も本事業は専門	も本事業は専門	あるため、今後		協会は啓発活動									
務	価			民からの相談に 民からの相談に	的な相談員が市 民からの相談に	の増加を見込める。		等に専念できる ため今後の増加									
1795	内容		40. A =T T = dul Ne	▮的確に対応でき	的確に対応でき	今後も本事業は		を見込める。									
_			理由または指標	【施し、市民サー	る委託方式で実 施し、市民サー	が市民からの相		今後も消費者相 談は専門的な相									
事				ビスの維持に努 める。	ビスの維持に努 める。	談に的確に対応 できる委託方式		談員が市民から の相談に的確に									
-114			る自己分析	w. 20°	ຜາຈີ່	で実施し、市民		対応できるよう									
業						サービスの維持に努める。		に、中空知の広 域で連携して運									
						12300.00		営する滝川地方									
評								消費者センター で対応し、市民									
								サービスの維持									
価								に努める。									
		今後の	方向性				現状のまま継続										
				R5: 総合評価が「白	- 好である」ことか	この各の古中が	上け現状の主主郷	R8 :				R10 :					
				続すべきと判断		り、フ核の方向は	Eは現仏のよよ胚										
					活相談員の研修参 りながら、相談員												
				きる委託方式で	本事業を実施し、												
	方向	性の判断 、改革の	理由	防止を図ってい	きたい。												
	改善 (R5	、改革の 、R8、R1	内容 0)	I													
												1					